

〈現計画〉新循環のまち・ふくおか基本計画（第4次福岡市一般廃棄物処理基本計画）

○テーマ：「元気が持続する循環のまち・ふくおか」

市民・事業者の自主的・自発的な取組みを行政が支援することにより、環境保全と都市の発展を踏まえた「福岡式循環型社会システムの構築」を推進する。



○基本方針：

- 方針① 循環型社会づくりのさらなる推進
- 方針② 処理の優先順位に基づく適正処理の推進
- 方針③ 持続可能な社会の実現に向けた施策の推進

新たな「ごみ処理基本計画」策定の必要性

〈現計画〉策定後の状況変化

- 人口の増加や経済状況などの社会状況が想定以上に大きく変化
- 国等の総合的かつ長期的な政策の方向性が決定

〈現計画〉策定後の新たな課題

- 今後も続くと想定される人口増加
- 観光・MICEによる交流人口の増加
- 好調な経済状況による事業所数の増加
- プラスチックごみや食品ロスなどの新たな課題



○上記に記載する状況の変化や新たな課題への対応には、既存の施策の検証や見直しを行う中間見直しでは十分な対応ができない。

○今後も当面は「元気が持続するまち」として、都市の成長も見込まれる中、市民のライフスタイルの変化や新たな課題に対応した施策を早期に実行し、定着させておく必要がある。

「元気が持続している」今だからこそ、次の時代を見据え、新たな計画のもと、新たな技術や知見を取り入れ、様々な行政課題へチャレンジし、次世代に誇れる持続可能な社会の構築に取り組んでいきたい。

第5次福岡市一般廃棄物処理基本計画のテーマ・基本方針

- 福岡市は、「元気なまち、住みやすいまち、成長可能性が高いまち」をさらに発展させ、「都市の成長」と「生活の質の向上」の好循環を確固たるものとし、あらゆる人が「生活の質の向上」を実感できる「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」の実現を目指している。(福岡市基本計画より)
- そのために、あらゆる主体が環境負荷低減に向けた賢い選択ができる社会を目指すとともに、Society5.0の実現や多様な主体との連携強化等により、次の世代のために安全・安心で持続的な好循環が可能な都市づくりを推進する。

基本計画のテーマ・基本方針を決める上でのキーワード

①だれが

市民・事業者・NPOの取組み推進

(ターゲットごとの行動を意識した広報啓発)

多様な主体も参加

(高齢者、単身者、外国人居住者の増加対策)

②どのような状態にしたいか

環境と成長の好循環を実現

(原単位の減少)

賢い選択への誘導

(エシカル消費、広報啓発の強化)

ものづくりと使い方に光をあてるシステムの定着

(製造工程から消費を減らす、リフーズの推進)

ESGの浸透

(中小事業者へのESGの考え方の浸透)

新たなイノベーションの活用

(Society5.0, AI・IoT等の活用)

美しい海・山・川の保全

(海洋プラ対策、不法投棄対策)

③実現のために配慮すること

SDGs・脱炭素への取組み

(新たな目標に向けた取組み強化)

地域循環共生圏

(エネルギー・リサイクル等)

サーキュラーエコノミーの視点

災害廃棄物の処理への取組み

(他都市との連携、施設的能力)

テーマ（案）

テーマ案①：「みんなでつくる次世代へ誇れる循環のまち・ふくおか」

テーマ案②：「賢い選択が生み出す環境と経済と社会の好循環が持続するまち・ふくおか」

※計画期間・需要予測

直近のデータを踏まえたうえで需要予測を示し、計画期間の考え方と併せて第4回目に検討

(参考)福岡市が目指す都市像

福岡市基本構想（平成24年12月）

テーマ：「住みたい、行きたい、働きたい。アジアの交流拠点都市・福岡」

- 自律した市民が支え合い豊かに生きる都市
- 自然と共生する持続可能で生活の質の高い都市
- 海に育まれた歴史と文化の魅力が人をひきつける都市
- 活力と存在感に満ちたアジアの拠点都市

福岡市環境基本計画（第三次）（平成26年9月）

テーマ：「豊かな自然と歴史に育まれ、未来へのちつなぐまち」

- 快適で良好な生活環境のまち
- 市民がふれあう自然共生のまち
- 資源を活かす循環のまち
- 未来へつなぐ低炭素のまち